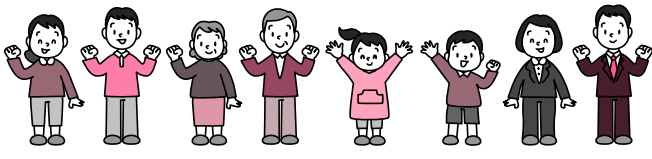


男女共同参画社会ってなあに!?

～私たちの男女共同参画社会の実現を目指して～



問/それいゆぷらざ（女性センター） ☎463-2697

「男女共同参画社会」という言葉は聞いたことはあるけれど、「なんだか難しそう…」
「自分には関係ないこと…」と思っていませんか？実は私たちの生活にまつわるとても身近で大切なことなのです。



ここで改めて『男女共同参画社会』について一緒に考えてみましょう！

「男女共同参画」ってどんな意味…？

男性と女性が互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。

あなたは無意識のうちに「男だから、女だから」という理由で、我慢してきたことや、嫌な思いをしたことはありませんか？男女共同参画は、生物学的には男女に違いがあることを認めたくて、「男だからこうあるべき、女だからこうあるべき」といった、性別によって固定的に役割を決めつける意識を社会全体で見直していこうとするものです。

一人ひとりの存在を認め合い、誰もが「自分らしく」輝ける社会になったら素晴らしいと思いませんか!?

《男女共同参画社会基本法》平成11年6月23日公布・施行
男女共同参画社会の形成を促進するために制定されました。基本法では、男女共同参画社会を実現するための5本の柱（基本理念）を掲げています。

男女共同参画社会を実現するための5本柱

社会における制度または慣行についての配慮

固定的な役割分担意識にとらわれず、男女がさまざまな活動ができるように社会の制度や慣行の在り方を考える必要があります。

政策等の立案および決定への共同参画

男女が、社会の対等なパートナーとして、あらゆる分野において方針の決定に参画できる機会を確保する必要があります。

男女の人権の尊重

男女の個人としての尊厳を重んじ、男女の差別をなくし、男性も女性もひとりの人間として能力を発揮できる機会を確保する必要があります。

家庭生活における活動とほかの活動の両立

男女が対等な家族の構成員として、互いに協力し、社会の支援も受け、家族としての役割を果たしながら、仕事や学習、地域活動等ができるようにする必要があります。

国際的協調

男女共同参画づくりのために、国際社会とともに歩むことも大切です。ほかの国々や国際機関と相互に協力して取り組む必要があります。

どうして必要？男女共同参画

日本では、「個人の尊重」と「法の下での平等」がうたわれ、これまでに男女共同参画社会の実現に向けさまざまな取り組みが行われてきました。しかし、家庭や職場、地域社会などあらゆる場面で、「男は仕事」「女は家庭」などの性別による固定的な役割分業に基づく人々の意識や社会慣行がみられたり、大事な意思決定の場に女性が加わることができなかつたりするなど、男女間の不平等を感じることもまだまだ多い現状があるからです。

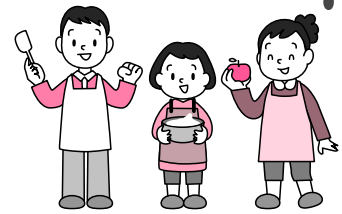
例えば・・・少子高齢化社会と男女共同参画

現在、日本は少子高齢化が進んでいます。働き手となる現役世代が減り高齢者が増えているため、経済が不安定化しているとともに、年金や医療保障制度の維持も難しくなっています。少子高齢化社会に対応するためにも、これまで男性中心であった社会を男性と女性の両方で支える仕組みに変えることが必要になってきます。



**男女共同参画社会は、
専業主婦を否定するものではありません**

仕事に重点を置く人、家庭（家事・育児）に重点を置く人などがある中で、専業主婦、専業主夫という選択も含め、男性も女性も家庭においていろいろな生き方、理想とする生き方が認められること、また、それを自らの意思で自由に選ぶことのできる環境が整えられている社会を目指しています。



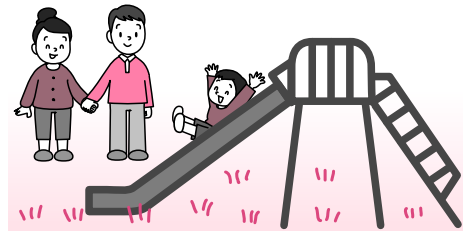
男女共同参画社会は女性だけのもの？

男女共同参画は、女性だけのものではなく男性にとっても、とても重要なことなのです。

男性の中には「男は一家の大黒柱だ！」「男は弱音を吐いてはいけない！」と重圧を感じている人も多いのではないのでしょうか。これは知らず知らずのうちに性別による固定的な役割分業意識にとらわれていることが推測されます。これにより男性（夫、父親）は、仕事中心の生活でいつしか家族との時間を持たなくなり、やがては苦悩や辛さをひとりで抱えこみ、家庭で孤立してしまう人もいるのではないのでしょうか。

このように、男性に集中していた社会的責任を男女で分担することで、男性の重荷もこれまでより軽減することができます。また、家族や地域とのつながりも大切にすることができ、コミュニケーションの幅も広がります。

男性も女性も家庭や仕事においてさまざまな生き方が認められ、誰からも押し付けられることなく、自らの意思で選ぶことができる環境は、男性にとっても意義のあることなのです。



男女共同参画が進むとどうなるの？例えば・・・

- 家庭では** …男女が対等な家族の構成員として互いに協力し、家族としての役割を果たしながら家事や育児、介護をみんなで協力して行います。
また、家族がお互いを尊重し、相手を思いやることでDV（配偶者間の暴力）のない社会を築いていきます。
 - 学校では** …性別にかかわらず、個人の能力や適性に合った進路選択をします。
 - 職場では** …男性も女性も対等に働き、能力を発揮できるとともに、仕事と生活の調和(注)も図れます。
 - 地域では** …男性も女性も主体的に地域活動やボランティアを行い、地域の連帯感が強まります。
- ◆これらが調和して男女共同参画社会が実現すれば、男性にとっても、女性にとっても、住みよい社会になるのではないのでしょうか。

(注)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)

一人ひとりがそれぞれの希望に応じて「仕事(ワーク)」と「家庭生活や地域活動等の私生活(ライフ)」の調和を図り、その両方を充実させる状態のことです。

男女共同参画の実現に向けては、男女がともに、自分らしい生き方を選択できるよう、仕事、家庭、地域・社会活動など、さまざまな分野においてバランスよく活動できる、ワーク・ライフ・バランスの実現が不可欠です。

最後に・・・



自分と周りの人を大切に思い、男女が互いに協力し合い、尊敬し合って幸せに生きていくことが大切です。

家庭・学校・職場・地域で誰もが平等で差別が無く、個性を生かし一人ひとりが輝ける男女共同参画社会の実現を目指し、みんなでこれまでの意識を変えて社会に参画していきましょう！



それいゆぶらざからのお知らせコーナー

それいゆぶらざをぜひご利用ください

それいゆぶらざでは、情報・交流コーナーにおいて男女共同参画に関する図書の貸し出しや情報発信(情報誌や講座のチラシの設置・インターネット閲覧など)を行っています。また、より理解を深めていただくための講座も開催しています。

Book コーナー

男女共同参画社会を知るきっかけとなる1冊！ ジェンダー・フリーの絵本①こんなのへんかな？

小・中学生向けの絵本だが、大人も考えさせられ気付かされる絵本。ジェンダーとそれに伴うさまざまな事例をかわいらしい絵と分かりやすい言葉で紹介している。少し視点を変え、当たり前と思っていたことに疑問を持つことで、性別による「こうあるべき」という束縛から解放され、社会が決めた「男らしさ」「女らしさ」を超えた「自分らしさ」に出会うことができる。やわらかい頭が固くならないうちに、子どもと一緒に読みたい。【そよかせ協力員】



大月書店
村瀬幸浩・高橋由為子 著

【協力員からの ひとこと感想】

- 「女の子なんだから～」と子どもたちには決めつけて言っていたと反省しました。個性を大切にしていきたいです。(クリーム)
- 「男女共同参画」というと難しいことのように感じていましたが、基本は、お互いを認め合い、尊重し合うことなんだなと思いました。(ちゃっぴ)

- 大事なものは、誰もがその時々を自分らしく生きられるような社会にしていけること、そしてそれを人々がお互いに認め合うこと。女性も男性も、それぞれの生き方を尊重し、お互いの輝きを生かし合えるような世の中になればよいと思っています。(あっきー)
- 私の場合、結婚しても周囲の男性と同じように働きました。しかし、出産で状況は一変し、仕事は続けましたが、悔しい思いもたくさんしました。(和ちゃん)

☆「そよかせ」は、男女平等推進情報紙「そよかせ」企画・編集協力員(市民)と協働で企画・編集しています。